

学び合いを生かした国語科の授業づくり

1年目

自分の考えを 筋道を立てて説明できる子の育成

2年目

学んだことを活用する場を意識しての授業づくり (国語科・算数科)

筋道を明確にして自分の考えを説明するための
《板書構成》 《ノート指導》 《教室環境》

まとめは青で囲む 課題は赤で囲む

キーワードはオレンジ ネームプレート

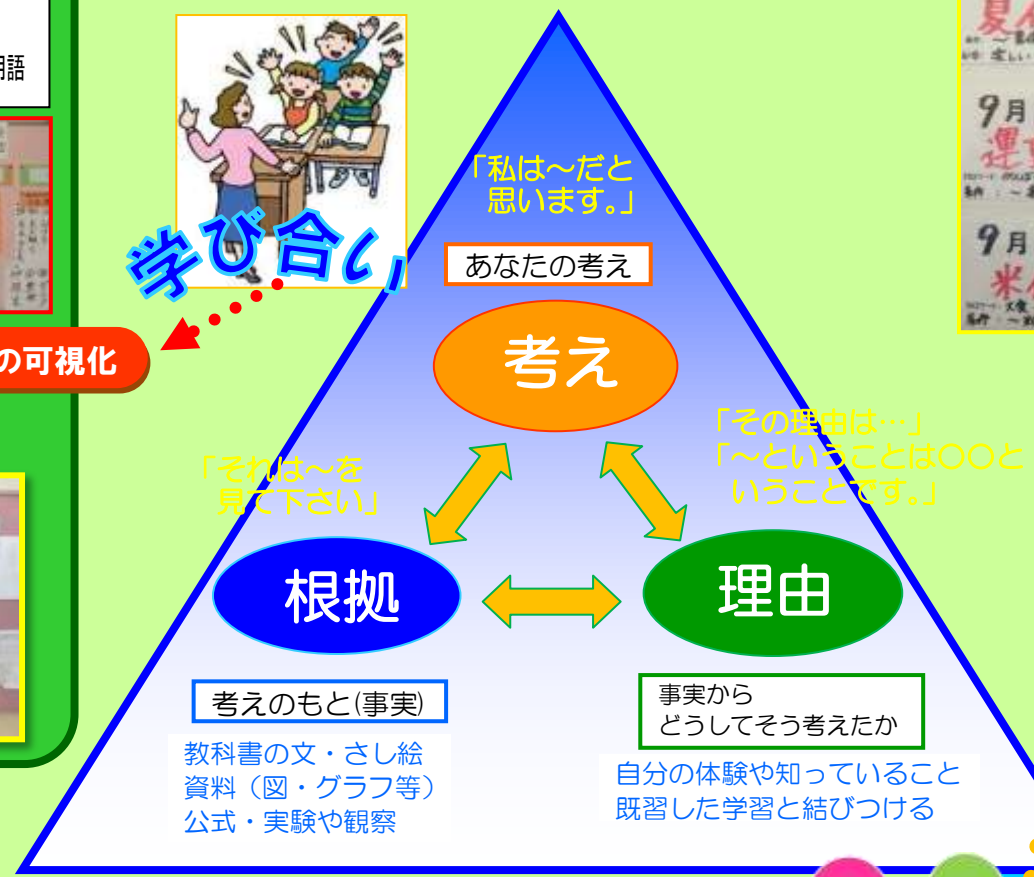
理由 考え 根拠

見本ノートの掲示

学び合いの可視化

《学習用語・キーワード》
黒板横 今使わせたい用語 教室横 既習の用語

三角形で伝えよう



100文字「言葉のスケッチ」

ねらい 感性と語彙を豊かにし、表現力や言語感覚を高めること

テーマ… 身近な題材

「今日、給食で食べたリンゴを知らない友達にわかりやすく100文字以内で説明してください。」

【書かせる際の条件】

《NGワード》 使ってはいけない言葉

《条件》 国語系統表などから、付けたい力を明確にし、適時、学年に応じたものを取り入れる

単元まるごと活用

- ①学んだことを生活や他の題材で活用する場
- ②単元の指導したことの検証・評価の場
- ③多面的・多角的な見方を広げる場 として

ラージステップ

主体的な活動 教師の出場

学んだことを活用する場として
●「単元まるごと活用」の場の設定

●三角形で伝えよう(三角ロジック)
(筋道を立てて自分の考えを説明する)
記述する・発表する・交流する

●めざす姿を共通理解
学習を支える基盤づくり

系統表の作成 ○指導の系統性…つけたい力の明確化

○単元を貫く言語活動を位置つけた授業構想

○相手・目的意識の明確化

○語彙力の育成(辞書の活用)

○並行読書の進め

国語科/読むこと

○学習用語

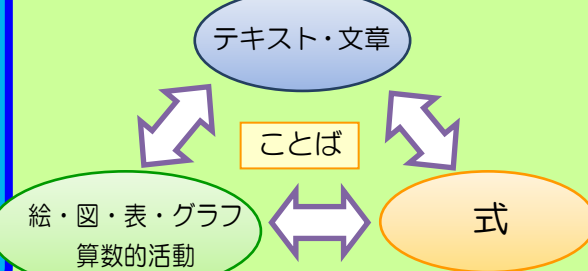
○中心となる考え

○意識させるキーワード

○まるごと活用

算数科

算数科
〔文/絵/式の相互関係のイメージ力 = 活用できる力へ〕



単元まるごと活用

7
6
5
4
3
2
1

「学習(学び)を支える力」

実践記録

教師の指導の手立て

学習を支える
身につけたい力

家庭学習のてびき

スキルタイム
活用カタイム

読書活動の充実

バランスアップカードの
取組(基本的な生活習慣)

明日を担う子どもたちの
ための18の約束

学習を支える取組